

大きな調べ

古浜 悦子

鉛筆で描かれたドの音符の繰り返し
懐かしい響があつて
心の言葉に魅せられ揺らされていく
やや湿りけをおびたどこか懐かしいこの感情
ド・ド・ド・ド・ドと繰り返し返すほど心に響く調べがある
どっしりと重い内面的な音感
ささやかな日常への不満や不安
その感情をブラックユーモアで表現してくれそうな
私に足りない力である
かん高くきれいな音に慣らされどこか疲れてて
そんな孤独に雨のシミがきれいに浮き上がるような
最高の演出
ふと気づけば無我の落ち着きがあり
しみじみセピアな写真が恋しくなる
回想している
鎮魂の調べが響いてた
私の体液の流れる音なのかもしれない
一番受け入れやすい音なのかもしれない
虚無感を無常感に変えるすごいエネルギーをもった
今、ドが古いオルガンの音に変換されている

古浜 悦子
(ふるはま えつこ)

一九五八年生まれ
大阪府枚方市在住
薬店勤務
コスモス文学新人賞
コスモス文学奨励賞など